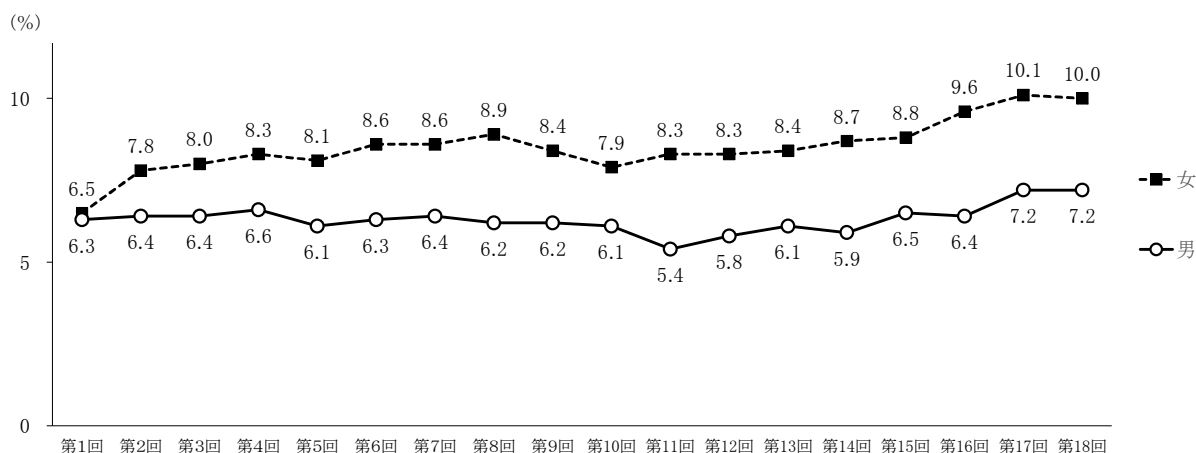


(3) ころの状態

この 17 年間のころの状態に関する回答を点数化(K6 による尺度)し、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の者の割合は、女は第 1 回から第 15 回まで緩やかに増加から横ばいに転じていたが、第 16 回以降増加、男は第 1 回から第 16 回まで横ばいだったが、第 17 回から増加傾向

この 17 年間のころの状態が 10 点以上の者の割合をみると、各調査回とも女が男より高くなっており、第 18 回のころの状態は、男が 7.2%、女が 10.0%となっている(図3)。

図3 性別にみた第1回調査から第18回調査までのころの状態が10点以上の者の割合



第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 第16回 第17回 第18回

注:1) 「ころの状態」の点数とは、過去1か月間のころ状態について、6つの質問の回答を5段階(0~4点)で点数化して合計したものである。「ころの状態」については、用語の定義を参照。

2) 第18回の性別ごとの点数不詳を除いた総数を100としたときの割合である。

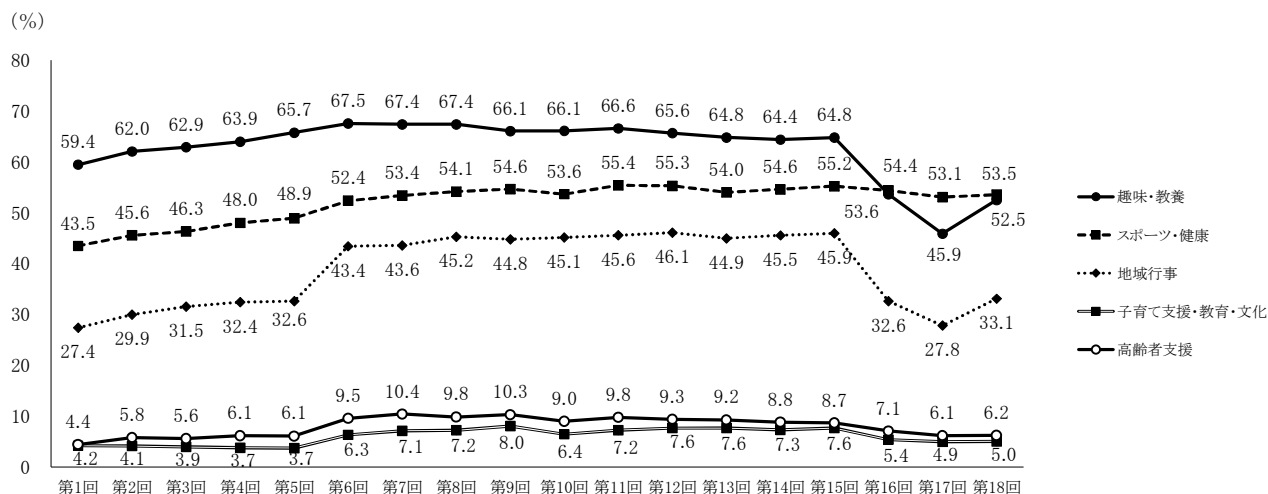
3 社会参加活動の状況

この 17 年間で「趣味・教養」、「スポーツ・健康」、「地域行事」は第 1 回から第 15 回まで緩やかに増加から横ばいに転じていたが、第 16 回、第 17 回に「趣味・教養」、「地域行事」の割合が減少したものの第 18 回で再び増加

この 17 年間の社会参加活動別に社会参加活動「あり」の者の割合をみると、「趣味・教養」、「スポーツ・健康」、「地域行事」が高くなっており、「高齢者支援」、「子育て支援・教育・文化」は低くなっている。

第 18 回の社会参加状況をみると、「スポーツ・健康」53.5%、「趣味・教養」52.5%、「地域行事」33.1%、「高齢者支援」6.2%、「子育て支援・教育・文化」5.0%となっている。(図4)

図4 第1回調査から第18回調査までの社会参加活動「あり」の者の割合



第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 第16回 第17回 第18回

注:第18回の総数を100としたときの割合である。